慶應義塾大学DMC研究センター
シンポジウム第12回

オープンサイエンス時代における デジタル知の深化に向けて

―研究データの共有と公開を考える

■日　　時：**2024年3月8日(金)**
14:00～17:00(13:30開場)

■場　　所：慶應義塾日吉キャンパス 協生館2階 多目的教室2

■開催形式：対　面

■入 場 料：無　料

＊申し込みフォームによる
事前登録をお願いします

DMC Keio University

主催　慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
https://www.dmc.keio.ac.jp/index.html
お問い合わせ：TEL. 045-548-5807／Mail. jimu-dmc@adst.keio.ac.jp

DMC 研究センターでは、これまでにデジタルアーカイヴの構築や FutureLearn オンラインコースのコンテンツ制作を通して、歴史資料や文化資源のデジタル化に取り組んできました。昨今では研究のデジタルデータや成果だけではなく、そのプロセスをも含めて社会に広くオープンにすることが期待されています。本シンポジウムでは、オープンサイエンス時代におけるデジタル知の共有と公開について、歴史資料や文化資源などの分野も視野に入れて検討します。皆さまぜひ奮ってご参加ください。

プログラム概要

第１部　基調講演

倉田敬子 慶應義塾大学文学部教授

オープンサイエンスが目指すこと

倉田敬子

第２部　事例紹介

杉浦　愛 UNESCO 東アジア地域事務所（北京事務所）科学プログラム専門員

――UNESCOの視点から

山口　徹 慶應義塾大学文学部教授

――民族資料の視点から

杉浦　愛

山口　徹

第３部　パネルディスカッション

● パネリスト（50音順）

金子晋丈 慶應義塾大学理工学部准教授 DMC 研究センター副所長

倉田敬子 慶應義塾大学文学部教授

杉浦　愛 UNESCO 東アジア地域事務所（北京事務所）科学プログラム専門員

山口　徹 慶應義塾大学文学部教授

● モデレーター

徳永聡子 慶應義塾大学文学部教授 DMC 研究センター副所長

金子晋丈

徳永聡子